

第3次御前崎市男女共同参画行動計画 実施計画書 質問事項連絡票（年度版：2018年度）

質問箇所	計画期間内の取組内容		質問事項	委員	回答	担当課
	2018年度	活動指標又は成果指標				
1	1	(1) - ①	・市役所のイクボス宣言 ・市役所職員のイクボスセミナー受講数対象者に対する受講率100%	落合	ボス自身が部下のワーク以外の部分を把握できておらず、部下からも休暇取得を言いづらい雰囲気となっている可能性がある。日頃からコミュニケーションを取り良好な関係を築くこともイクボスへの一歩であり、質問のような子育てが行えるような采配をすると共に、自身のライフも充実させられるような意識付けを行っていく。また、総務課と連携し、まずは現在も実施している毎週水曜日の定時退庁『帰る日』を徹底していく。	企画政策課
2	1	(1) - ①	・市役所のイクボス宣言 ・市役所職員のイクボスセミナー受講数対象者に対する受講率100%	竹田	平成28年度が庁内全体で19,144時間と近年で一番多い時間外勤務であったが、以後は17,000時間程度と微減となっている。しかし、庁内全体で1万時間を超える高い水準となっている状況である。働き方推進法の改正により、罰則付きの時間外労働の上限規制が導入されたため早急な対応が必要である。一朝一夕にはいかないと思うが、総務課と連携を図りながらイクボスの精神を職員に広め、業務改善に繋げていくことが時間外勤務の是正に繋がっていくと考える。（上限は原則月45時間、年間360時間）	企画政策課
3	1	(1) - ②	女性職員の研修会受講率 行政法研修、民法研修等の女性職員受講率20%以上	落合	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、本年1月には、菊川市と共同でイクボス宣言を実施。職員意識の醸成や働きやすい職場環境の構築に向けて、長時間労働の是正、ワークスタイルの変革、メンタルヘルス対策に取り組んでいる。平成30年3月に策定した「御前崎市特定事業主行動計画」に基づき、年次有給休暇の取得促進や時間外労働時間の縮減に向けた取り組みを推進するとともに、週休日の振替徹底、ノー残業デーの実施、時差出勤などを実施している。また、職場や家庭をでの悩みを解決するため平成30年度から「職員なんでも相談」を実施し、職員の心理的サポートをしている。	総務課
4	1	(2) - ①	・制度の啓発と人材発掘を行う。 ・やまもネット交流会の実施 やまもネット新規登録者数(5名/年)	落合	・登録者数 36名(平成31年3月末時点) ・審議会等の数 19(県調査対象分のみ) ・内やまもからの委員 6名(あくまで調査対象の審議会等のみの数であり、実際は多くの方が様々な委員となっている) ・ただ登録してもらえば良いという制度ではないため、登録後の市へ関りやすスキルアップなどを考えていかなければならない。現在、広報やHP等で登録者募集を行うと共に、他の委員等からの推薦も行っている。担当課で把握できていない素晴らしい活躍をされている方、これから何かしていきたいと考えている方の推薦にぜひ御協力いただきたい。	企画政策課
5	1	(2) - ②	・女性のキャリア形成支援に特化した研修プログラムの作成 女性のキャリア形成に関する講座への参加者数 5名	落合	女性が昇進を望まない理由は、職場環境や家族の環境など様々な要因が関係しているが、主要な要因の一つとして、今まで管理職になることを前提とした育成機会が少なく、キャリアアップしていくことが自身の選択肢となっていないことが挙げられる。そのため、市役所として、女性に対して将来の管理職候補として活躍してほしいという期待を研修や面談等で伝え、女性職員自身の意識を変えていくことも必要だと考えている。そのため、イクボスの推進とともに、女性に対して早期育成を行い、管理職を担う人材に育てることが初期段階の取り組みとして必要だと考えている。	総務課
6	1	(2) - ③	・女性職員に対するキャリアアップ研修への計画的な受講勧奨 女性のキャリア形成に関する講座への参加者数 5名(再掲)	落合	同上	総務課
7	2	(1) - ①	・女性人材バンク「やまもネット」の活用を促すなどして女性の登用促進への周知を行う。 ◎市の審議会等における女性委員の割合 30%	落合	現在、やまもネット登録者のなかに若い世代の方がほほいらない状態となっている。市の審議会等の委員においても、女性だけでなく登用人数の多い男性も年齢層が高いと思われる。(細かい集計はできていない) 今後は、女性の登用人数割合を増やすと共に、様々な世代からの意見も取り入れられるような人選が出来るよう考えていきたい。また、やまもネットには推薦制度もあるため、ぜひ活用し情報を提供していただきたい。	全課

第3次御前崎市男女共同参画行動計画 実施計画書 質問事項連絡票（年度版：2018年度）

質問箇所	計画期間内の取組内容		質問事項	委員	回答	担当課	
	2018年度 活動指標又は成果指標						
8	2	(2) - ①	御前崎市ホームページやチラシ等を市役所内に配架等での情報提供 月1回、年12回以上の情報提供	具体的な情報の取得先、取得内容について、さらに検討を加えていただきたい。とくに女性活躍推進法の改正が確実なためそうした情報の積極的な活用をお願いしたい。	犬塚	内閣府男女共同参画局（経産省、厚労省）、県男女共同参画課等より情報を収集し、市内企業へ発信を心がけていく。また、女性活躍推進法の改正情報等の活用を検討していく。	商工観光課・企画政策課
9	2	(2) - ①	御前崎市ホームページやチラシ等を市役所内に配架等での情報提供 月1回、年12回以上の情報提供	県男女共同参画に関する県知事褒章を授与した企業の例など紹介したらどうか？	落合	そのような情報の発信をどのようにしていくのか、今後課内で検討させていただきます。	商工観光課・企画政策課
10	2	(2) - ②	防災事業説明会等で、自主防災組織における男女共同参画を促す。 ◎自主防災組織の各班において、男女双方が配置されている割合 33%	どうい方法で促すのか？（機会、場、対象者）	落合	防災事業説明会や総合防災訓練及び地域防災訓練前の各方面隊、各自主防災会への説明会の場において、防災委員等の自主防災会の役員に女性が入ることの重要性について話をしていきたい。	危機管理課
11	2	(2) - ③	1)総代会議や町内会長会議等での女性登用の啓発状況 2)行政協力員における女性の割合(132人中) 1)啓発回数 2回/年 2)女性登用数 1人	女性比率が極めて低いため、年度当初だけでなく年間通して複数回の働きかけを検討して頂きたい。	犬塚	地域の慣習や、地域で女性が活躍している女性部等があり、行政協力員への登用までには至っていないが、いずれは女性が活躍できるよう、今後、年度初めの町内会長会議以外でも女性登用について先進地の事例を紹介するなど、啓発を行っていきたい。	総務課
12	2	(2) - ③	1)総代会議や町内会長会議等での女性登用の啓発状況 2)行政協力員における女性の割合(132人中) 1)啓発回数 2回/年 2)女性登用数 1人	総代会議や町内会長会議への働きかけはできるのでは？(2018年度 啓発回数0回)	竹田	同上	総務課
13	2	(2) - ④	市役所における女性管理職の割合(一般行政係長以上) 20.0%	女性管理職(係長以上)はどの根拠か？	水野	通常、課長補佐以上を管理職としている。しかし、当市の課長補佐以上の女性職員の割合をみると、課長補佐職以上の女性の割合が一般行政職で7%と低く、これらの割合を増加させるには数年かかると考えられるため、まずは管理職候補の女性を増加させていくことが必要だと考え、この計画の指標としています。	総務課
14	3	(1) - ②	・保育士の確保 ・クラブ支援員の確保とスキルアップ ◎放課後児童クラブ登録人数240人 ◎放課後児童クラブの利用を希望するが利用できない児童数 0人	ぜひ続けて欲しい！女性の活躍には欠かせない。	落合	保育士の確保にむけ、学校教育課と連携を図っている。	こども未来課
15	3	(1) - ②	・保育士の確保 ・クラブ支援員の確保とスキルアップ ◎放課後児童クラブ登録人数240人 ◎放課後児童クラブの利用を希望するが利用できない児童数 0人	保育園の待機児童は0か？ 民営化の進捗状況は？	水野	待機児童 H30年度:23名 R元年度:11名 R2年4月の民営化に向けて準備を進めている。	こども未来課

第3次御前崎市男女共同参画行動計画 実施計画書 質問事項連絡票（年度版：2018年度）

質問箇所	計画期間内の取組内容		質問事項	委員	回答	担当課	
	2018年度	活動指標又は成果指標					
16	3	(1) - ②	<p>・保育士の確保 ・クラブ支援員の確保とスキルアップ</p> <p>◎放課後児童クラブ登録人数240人 ◎放課後児童クラブの利用を希望するが利用できない児童数 0人</p>	放課後児童クラブ(料金が安くなったと聞いた)と保育園・子ども園の保育料無償化により、更に利用が増える懸念がある。対策は万全か？	竹田	学校教育課と連携を図り、利用定員の見直し、預かり保育の充実等を検討している。	こども未来課
17	3	(2) - ②	<p>育児休業制度を分かりやすくまとめたものを職員に情報提供する</p> <p>男性の育児休業取得者数 1人</p>	市役所のイクボスとの連携は重要。同時に女性も含め該当世代の若手職員全体への啓発を継続してほしい。	犬塚	市職員の仕事と家庭生活の両立を支援するとともに、市内の企業や団体に「イクボス」の取組や精神を広げていけるよう今後も努力していきたい。	総務課
18	4	(1) - ②	<p>防災訓練における講師、市民団体等の派遣。 女性参加者の報告。</p> <p>男女の固定的な役割を入れ替えた訓練の実施団体 1団体</p>	この事業の目的のポイントは「男女の固定的な役割を入れ替えた訓練」の実施にあるので、単に女性の参画を促すだけでなく、訓練内容での役割分担の見直しに積極的に取り組んでほしい。	犬塚	防災訓練の説明会等で、炊き出し訓練など、役割の入れ替え訓練を積極的に実施してもらえるように各方面隊、各自主防災会へ話をしていきたい。	危機管理課
19	4	(1) - ②	<p>防災訓練における講師、市民団体等の派遣。 女性参加者の報告。</p> <p>男女の固定的な役割を入れ替えた訓練の実施団体 1団体</p>	市民団体は自主的な活動で意識・知識向上の啓もう活動をしている。市から派遣されたとの認識はない。委託事業として派遣してほしいが、いかがか？	落合	防災訓練においては、現在は菊川警察署、御前崎市消防本部、御前崎市消防団女性隊の派遣を行っている。予算も無いため、委託事業で実施するのは難しいかもしれないが、実施の有無について研究していきたい。	危機管理課
20	4	(1) - ③	<p>男女共同参画の視点を取り入れた防災講演会、講座の実施</p> <p>男女共同参画の視点を取り入れたDVD貸出し団体 3団体</p>	災害対策の基本として「自助・共助」とともに「多様性への配慮」の周知を徹底して行ってほしい。	犬塚	福祉避難所や外国人(多言語)対応など、各種多様性への配慮を研究し、対応していきたい。	危機管理課
21	4	(1) - ③	<p>男女共同参画の視点を取り入れた防災講演会、講座の実施</p> <p>男女共同参画の視点を取り入れたDVD貸出し団体 3団体</p>	具体的な計画は？防災というと男女共同参画に関する講師は限定される。誰に依頼するか？どんな講座か？	落合	本年度の防災講演会は静岡大学の池田恵子氏へ「仮：地域における女性の防災」について行う予定で、広く市民へ女性の防災への必要性を周知したい。	危機管理課
22	4	(2) - ①	<p>市民団体等の後援</p> <p>女性の視点を取り入れたHUGの実施 実施回数 1回</p>	課題。改善点は明確なので、一層の積極的取組をお願いしたい。	犬塚	平成29年度に「女性の視点を取り入れたHUGの実施」を予定して「あざれあ」へ話を聞きに行ったが、そのまま止まってしまっているため、再度体制を整えて、具体的に話を進めていきたいと考える。	危機管理課
23	4	(2) - ①	<p>市民団体等の後援</p> <p>女性の視点を取り入れたHUGの実施 実施回数 1回</p>	後援ではなく、委託として積極的に取り組む必要があるのではないか？ HUGは女性が参加して実施しないと意味がない。参加者の男女比はどのくらいか？	落合	市で主催しているHUGの講習会は現在実施されていないが、ここ数年で白羽地区と高松地区でHUGの体験会を実施しているので、今後も各地区に女性を含めたHUGの講習会の開催などを促して協力していきたい。	危機管理課
24	4	(2) - ②	<p>女性の視点を取り入れた備蓄品配備の促進。防災用品購入費補助金の広報。</p> <p>防災用品購入費補助金の利用件数 200件/年</p>	課題。改善点は明確なので、一層の積極的取組をお願いしたい。	犬塚	市の備蓄現状を再確認し、被災地の状況等を見比べながら、備蓄を進めていきたい。	危機管理課

第3次御前崎市男女共同参画行動計画 実施計画書 質問事項連絡票（年度版：2018年度）

質問箇所	計画期間内の取組内容		質問事項	委員	回答	担当課	
	2018年度	活動指標又は成果指標					
25	4	(2) - ②	女性の視点を取り入れた備蓄品配備の促進。防災用品購入費補助金の広報。 防災用品購入費補助金の利用件数 200件/年	備蓄について方面隊、自主防の倉庫の確認を防災指導員や防災委員に積極的に指導していただきたい。備蓄物に格差が目立つため。指導員が自主防や方面隊を指導し難い状況にある地域がある。もっとレベルアップするよう、防災士の資格だけでなく研修もしっかりできないか？	落合	方面隊及び自主防災会の備蓄品については、各地区で必要となる物に差異があるため、各地区の特性を踏まえた備蓄品の整備を促していく。防災指導員のレベルアップについては、年6回の会議と県主催の研修会があるため、積極的に参加していただき、知識の高揚を図っていきたい。	危機管理課
26	4	(2) - ③	男女共同参画の視点を取り入れた防災アンケートの実施。 マニュアルを見直し、改訂版を作成した地区 1地区	課題。改善点は明確なので、一層の積極的取組をお願いしたい。	犬塚	県や他市の実施状況を確認しながら当市にあったアンケートを作成していきたい。	危機管理課
27	4	(2) - ③	男女共同参画の視点を取り入れた防災アンケートの実施。 マニュアルを見直し、改訂版を作成した地区 1地区	防災指導員がもっと積極的にアンケートや計画の作成に関わらねば、方面隊・自主防任せでは進まないと思うがどうか？早めに全地区で作成するべきだと思う。	落合	各地区の特性に合わせた避難所運営マニュアル作りを進めていくため、前段階のアンケートの作成でも各地区防災指導員や自主防災会役員と協議していきたい。	危機管理課
28	5	(1) - ①	・女性相談事業の周知と相談体制の強化を行う。 「女性に対する暴力をなくす運動」期間等を活用した広報啓発回数 5回以上	女性相談窓口が個室が用意されているのか？カウンター越しでは相談しにくい。一時保護の対策はとれているのか？	落合	相談室の予約を取り、個室で対応している。必要に応じ、県の女性相談センターや警察と連携を取り、一時保護ができる体制を整えている。	福祉課
29	5	(2) - ①	・ハラスメントに関する国・県等のリーフレットの配布・ホームページ・広報誌・ケーブルテレビ等を活用した広報 セクハラ・パワハラ防止に向けた研修等の啓発機会提供回数 年12回以上(月1回以上)	ハラスメント対策の強化は近々実施予定の女性活躍法改正の重要項目になると思われるので、ぜひこの機会に一層の徹底化を図っていただきたい。	犬塚	改正内容を抜粋し、庁内及び市民等への周知を検討するなど、担当課としても制度の理解を深めることに努める。	企画政策課・ 商工観光課
30	5	(2) - ②	1)ハラスメント防止に向けた啓発・研修会の開催による未然防止への意識づけ 2)メンタルヘルス・ハラスメント相談窓口の設置(開設)、利活用 1)コンプライアンス研修会 1回/年 2)相談件数 年60件	ハラスメント対策の強化は近々実施予定の女性活躍法改正の重要項目になると思われるので、ぜひこの機会に一層の徹底化を図っていただきたい。	犬塚	全ての職員が、セクシュアル・ハラスメントは重大な人権侵害であり、男女共同参画社会の形成を大きく阻害するものであるとの認識をし、ハラスメントの未然防止をすることが必要であると考えている。そのため、平成30年度から令和3年度までのコンプライアンス研修のテーマをハラスメントと定め、セクシュアル・ハラスメント防止に係る法令、セルフチェック、対処法等について、全職員に対して研修を実施して周知徹底している。職場全体として、ハラスメントを「しない」「させない」「されない」という意識で取り組んでいきたい。	総務課
31	5	(2) - ②	1)ハラスメント防止に向けた啓発・研修会の開催による未然防止への意識づけ 2)メンタルヘルス・ハラスメント相談窓口の設置(開設)、利活用 1)コンプライアンス研修会 1回/年 2)相談件数 年60件	上司が部下に対して「おまえ」という言葉でやりとりしているのを見受ける。名前と呼ぶよう指導が必要ではないか？威圧感のある態度では、真の報・連・相ができないし、意見交換もできず、業務に支障が出るのではないか？	落合	「お前」という言葉は、呼ばれた側が『軽んじられている』と感じる場合があると思う。ただ、単に『お前』と呼ばれたからといって、名誉が侵害されたり、精神を病んでしまったりすることは基本的にはないと考えている。むしろ、『お前』と呼んだ部下に対し、続けてどのような言葉を投げかけたのか、また、どのような場所でその言葉を発したのかという点が、パワハラに該当するかどうかを決することになると考えている。しかしながら、上司が部下に対して「お前」と呼ぶことは、職場の風土として望ましいことではなく、風通しが良い職場となるよう、相手を尊重する呼び方をしていくよう指導していきたいと思う。	総務課
32	6	(1) - ①	・事業のPR ・対象者の適正な把握 自立支援給付金受給者数 1人	周知がいき届いていない母子家庭が存在する可能性は一般的に高いので、ぜひしっかり検証と対策を進めていただきたい。	犬塚	児童扶養手当の現況届の際に貸付制度について案内を対象者へ渡しています。自立支援給付は周知が行き届くようPR方法を検討していきます。	こども未来課

第3次御前崎市男女共同参画行動計画 実施計画書 質問事項連絡票（年度版：2018年度）

質問箇所	計画期間内の取組内容		質問事項	委員	回答	担当課	
	2018年度	活動指標又は成果指標					
33	6	(1) - ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業のPR</li> <li>・対象者の適正な把握</li> </ul> 児童扶養手当受給者数 170人(見込み数)	安易な離婚、プライバシーの問題もあり難しいが、本当に支援が必要か・・・と思われるようなケースも見られる。[本当に支援が必要]⇔[支援があるから大丈夫] 算定の仕方は？	竹田	所得制限がある手当となり、所得や条件に応じて支給額が異なります。42,910～10,120円/月の支給となり、対象児童が2人目、3人目と増えることにより加算があります。また、受給要件に疑いがある世帯については訪問等を行い調査していきます。	こども未来課
34	6	(2) - ①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談の随時受付</li> <li>・相談件数 2,500件</li> </ul>	地域包括支援センターの整備は？	水野	令和元年5/7から、御前崎消防署白羽出張所2階に地域包括支援センター出張所を開設した。	高齢者支援課
35	6	(3) - ①	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活困窮者に対する相談員の設置</li> <li>相談員の人数3人</li> </ul>	いずれの自治体でも同様の問題を抱えているため、ぜひ他市町との情報交換や連携を強化し、対策にあたってほしい。	犬塚	県で実施する研修に参加し、他市町との情報交換を行っている。委託先の社会福祉協議会との連携についても、毎月支援調整会議を開催している。	福祉課
36	7	(1) - ②	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診しやすい環境整備</li> <li>がん検診の周知</li> <li>再勧奨通知の発送</li> </ul> 乳がん検診の受診率 23% 子宮がん検診の受診率 20%	状況に応じて目標値を高め修正して行くことの検討も必要では。	犬塚	現在婦人科がん検診の受診率は減少傾向にある。そのため受診率の維持ということで検討した。	健康づくり課・こども未来課
37	7	(1) - ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康講座</li> <li>健康講座の参加者 延べ人数 70人</li> </ul>	男性参加者が0名というのは極端な偏りなので、男性のニーズの掘り起こしとともに、男性が参加しない要因の分析や、参加しやすい場所、日程等も含めたプランの見直しに取り組んでほしい。	犬塚	男性が参加しやすいよう、抵抗感の強い調理実習については調理を伴わない講座について計画した。また、理学療法士による運動を講座内容に取り入れ、男女とも参加しやすい企画とした。	健康づくり課・こども未来課・高齢者支援課
38	7	(2) - ①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校における男女共同参画の視点に立った性教育の実施</li> <li>◎小中学校における男女共同参画の視点に立った性教育の実施率 全校実施</li> </ul>	実施した性教育の具体的内容をもう少し教えてほしい。	犬塚	保健や学級活動の学習で男女の体の違いや二次性徴のあらわれ、命の誕生と家族の関わり、育児への思いなどの指導を年間指導計画に位置付け実施している。また、担任だけにとどまらず、多くの学校で養護教諭などと連携を図ったり、地域の人材を講師に招いたり充実した授業になるよう工夫している。	学校教育課
39	7	(2) - ①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校における男女共同参画の視点に立った性教育の実施</li> <li>◎小中学校における男女共同参画の視点に立った性教育の実施率 全校実施</li> </ul>	性犯罪についての教育をしているのか？災害時は幼児～高齢者まで性犯罪にあっている。防災教育を含め教育の必要があるのではないか？	落合	性犯罪のみを取り上げた授業の実施は内容についても十分に配慮が必要になってくるため、とくに行っていないが、浜中・御中で年1回福祉課主催のデートDV予防講座を実施している。防災教育については年々さまざまな自然災害が起こり、必要感が増している中で年間の中にも位置付けて行うようになってきた。子どもも必要だが、まず避難者や子どもを守る立場の職員や地域住民の意識を高めることから取り組んでいきたい。	学校教育課
40	7	(2) - ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業のPR</li> <li>◎母子手帳交付時相談 100%</li> </ul>	ママ安心タクシーの利用率は？	水野	母子手帳交付時に希望者全員に割引乗車券20枚を交付。 H30年度 交付者数:167人 助成者数:31人 使用枚数:405枚 利用率18.5% 助成者1人当たりの使用枚数13枚	こども未来課
41	8	(1) - ②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護教室の男性の参加促進</li> <li>◎介護教室の男性の参加割合 26%</li> </ul>	男女共同参画が理解できていない世代なので、積極的な研修を他課と共同で実施してはどうか？老人会など。	落合	直接介護に関わる人だけでなく、同居の家族にも本教室を知ってもらうために、チラシをデイサービスを介して配布している。男性が参加する教室等で参加を促していきたい。	高齢者支援課

第3次御前崎市男女共同参画行動計画 実施計画書 質問事項連絡票（年度版：2018年度）

質問箇所	計画期間内の取組内容		質問事項	委員	回答	担当課	
	2018年度	活動指標又は成果指標					
42	8	(2)-①	・会員の募集 ・事業のPR ◎ファミリー・サポート・センター登録者数 70人	菊川市が県内で若い世代の住みたい街の一位であるとか…。大きなヒントがあるように思うが、是非理由を知りたい。（子育てしやすい街？）	竹田	菊川市が若い世代の住みたい街の1位である理由は分かりませんでしたが、引き続き、提供会員を増やし全てのニーズに対応できるよう努めていきます。	こども未来課
43	8	(2)-②	・保育士の確保 ◎延長保育実施園数 1園	現状で可能か？（公立）	水野	延長保育 実施園 R元年度 民間1園 R2年度 民間2園の予定 公立園でも需要が高まれば検討していく。	こども未来課
44	8	(2)-②	・保育士の確保 ◎延長保育実施園数 1園	[再掲]8-(2)-①	竹田	延長保育 実施園 R元年度 民間1園 R2年度 民間2園の予定 公立園でも需要が高まれば検討していく。	こども未来課
45	8	(2)-③	新たな家庭教育支援員の養成事業の検討 ◎家庭教育支援員の養成人数 6人	虐待を知るのは近所の人が多いように思う。通報する場合の方法を積極的に広報できないか？警察や児童相談へのハードルが高いように思う。	落合	家庭教育支援員は身近な地域の中で、身近な人による、保護者に寄り添う支援をし、多くの保護者が抱えている 小さな悩み・不安の深刻化を防ぐ役割を担っています。当市では、家庭教育支援員を中心として保護者同士の交流、共働き世帯や核家族の母親への育児家事負担の軽減、家庭での親子のふれあいを支援する家庭教育支援の場づくりを開催しています。なお、虐待等へつながるような情報があった場合は、担当課への情報提供につとめます。	社会教育課・企画政策課
46	8	(2)-③	新たな家庭教育支援員の養成事業の検討 ◎家庭教育支援員の養成人数 6人	[再掲]8-(2)-①	竹田	菊川市によると、「支援員の認知度が低くその活用が十分に図れていない」との回答でした。当市としては、保護者同士の交流や、共働き世帯や核家族の母親への育児家事負担の軽減と家庭での親子のふれあいを支援するための家庭教育支援の場づくりに継続的に取り組みます。（だれでも食堂もぐもぐ など）	社会教育課・企画政策課
47	8	(3)-①	対象者に基本チェックリストの郵送 基本チェックリスト回収率70%	目標値を高めにも修正することも検討してほしい。	犬塚	回収率を上げ、現状をより正確に把握するため、訪問による調査も行った。その結果、目標を達成された。2019年度の目標値は昨年と変わらないが、対象者の年齢幅を広げていく。	高齢者支援課
48	8	(3)-②	運動指導士の養成講座実施 男性参加率 20%	目標値を高めにも修正することも検討してほしい。	犬塚	14年間を通しての現在の活動参加者は90名である。うち男性は1割以下と男女比に差がある。目標値としては20%とする。	高齢者支援課
49	8	(3)-③	要請に対する講話と指導 指導内容の一月後の実施率 30%	男性のみ限定の講座なのかどうか。そうでなければ男性の参加者割合を示してほしい。	犬塚	男性限定ではない。シニアクラブの男性参加率は3割。自主サロンは1割程度である。（自主サロン自体が女性が多い）	高齢者支援課
50	9	(1)-①	統計資料・関連情報を広く収集 男女共同参画の実態を情報提供する回数 年1回以上	とくに最新の関連法施行(働き方改革関連法)や関連法改正(女性活躍推進法改正)などの動きがあれば、重点的に情報収集と発信に努めてほしい。	犬塚	庁内及び市民へ情報発信するためには、担当課としても制度への理解を深めることが不可欠である。情報収集のためのアンテナを高くし、重要点等の発信を心がけていく。	企画政策課

第3次御前崎市男女共同参画行動計画 実施計画書 質問事項連絡票（年度版：2018年度）

質問箇所	計画期間内の取組内容		質問事項	委員	回答	担当課	
	2018年度	活動指標又は成果指標					
51	10	(1)-①	<p>・小中学校における男女共同参画の視点に立った 道徳教育の実施</p> <p>◎小中学校における男女共同参画の視点に立った 道徳教育の実施率 全校実施</p>	実施した教育の具体的内容をもう少し教えてほしい。	犬塚	<p>小中学校において道徳や家庭科、特別活動などの学習指導要領に男女共同参画に関する学習の内容について指導を行うことが示されており、教職員は年間、また学年間で指導の計画を立て実施している。その中で道徳においては、友情や信頼、相互理解や集団生活の充実などの価値項目の題材の資料を活用した授業を男女共同参画の視点からも考え工夫をしている。また、学校における教育活動は男女の区別を必要とする活動以外は一緒に活動することが基本であり、これからも変わらず誰もが活躍できる学級経営・学校運営を推進していきたいと考えている。</p>	学校教育課
52	10	(1)-①	<p>・小中学校における男女共同参画の視点に立った 道徳教育の実施</p> <p>◎小中学校における男女共同参画の視点に立った 道徳教育の実施率 全校実施</p>	<p>小・中学校での道徳教育からでないと、実際にはなかなか難しい。道徳教育の中に、男女共同参画の視点で啓発していく。→ 5年後、10年後、社会人になった時、社会が変わっていく。大事な事は一朝一夕にはいかないものだと思う。特に4、50代以上の大人には知識としての啓発は大事だが、意識改革までは難しいと思う。</p>	竹田		学校教育課
53	10	(1)-①	<p>人権啓発チラシ等の窓口配架。電話相談の周知。 人権教室及び街頭啓発活動を実施。</p> <p>◎人権意識の向上率 36.0%（市民意識調査）</p>	[再掲]10-(1)-①	竹田	<p>小学校で人権教室を行い、若年のうちからの人権啓発に努めている。内容としては、命の大切さや友人との関わり合いを題材に、人権は誰もが生まれながらに持っていることへの理解を促すものである。</p>	福祉課
54	10	(1)-②	<p>・小中学校における男女共同参画の視点に立った 道徳教育の実施</p> <p>◎小中学校における男女共同参画の視点に立った 道徳教育の実施率 全校実施</p>	実施した教育の具体的内容をもう少し教えてほしい。	犬塚	10-(1)-① 回答欄参照	学校教育課
55	10	(1)-②	<p>・小中学校における男女共同参画の視点に立った 道徳教育の実施</p> <p>◎小中学校における男女共同参画の視点に立った 道徳教育の実施率 全校実施</p>	[再掲]10-(1)-①	竹田	10-(1)-① 回答欄参照	学校教育課
56	10	(1)-③	<p>・小中学校における男女共同参画の視点に立った キャリア教育の実施</p> <p>◎小中学校における男女共同参画の視点に立った キャリア教育の実施率 全校実施</p>	実施した教育の具体的内容をもう少し教えてほしい。	犬塚	<p>学級活動や総合的な学習の時間などを中心に、男女相互について理解するとともに、ともに協力し尊重し合い、充実した学級・学校生活づくりに参画する機会を日々意識させながら指導にあたっている。とくに、小学校高学年や中学校において、さまざまな仕事で活躍する地域の人材を男女関係なく活用して職場体験や職業講話を行い、将来の夢や希望をもち広げる機会を作るなどしている。</p>	学校教育課
57	10	(1)-③	<p>・小中学校における男女共同参画の視点に立った キャリア教育の実施</p> <p>◎小中学校における男女共同参画の視点に立った キャリア教育の実施率 全校実施</p>	[再掲]10-(1)-①	竹田	10-(1)-①または③ 回答欄参照	学校教育課